

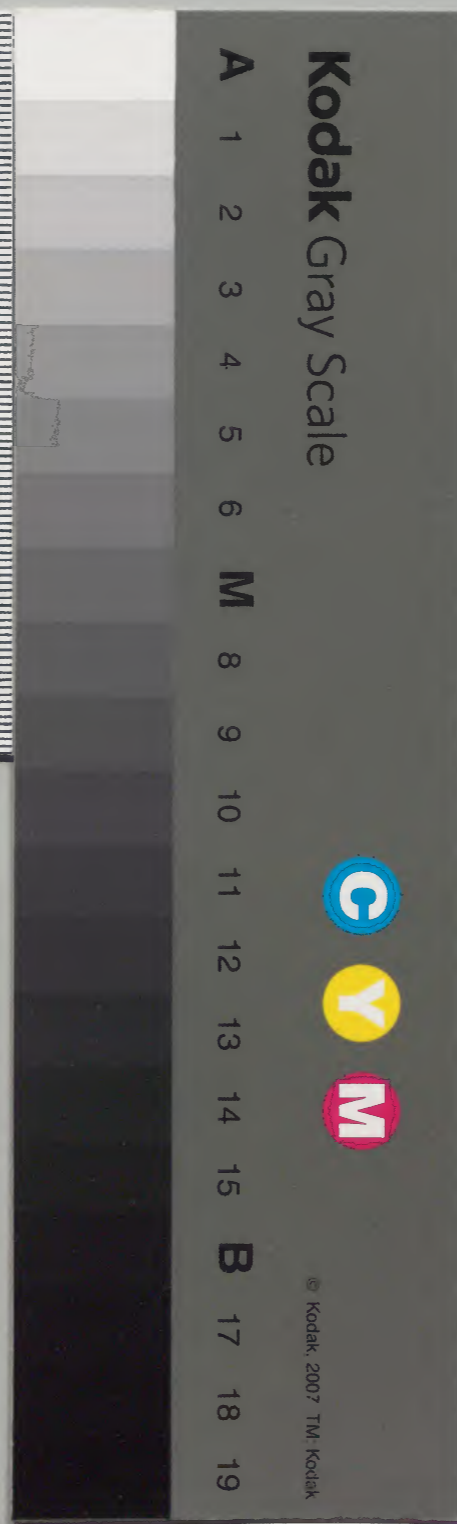
拾遺 都名所圖會

龙青龍

三

				和書門
八	六	五	九	
一	一	三	九	
冊	架	函	號	類

庫文閣内		和	
七	分		
函			
一	加		
架			
内閣文庫			
番號	和	8659	
冊數		11 ( 9 )	
函號		172	176



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり  
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

拾遺都名所圖會卷之二目錄

龍青龍尾

鏡山

光秀塚

將軍塚

堤河

親鸞五鋪

聖護院

栗田社舊跡

吉備公像

明星水

袖競

安祥寺

小瓶治水

青蓮院

板殿过子

風羅坊舊趾

堀出觀者

秋葉祠

熊野権現

丸府墳

真如堂

袖河原

松坂

花頂山旧趾

耕芸菴旧跡

法勝寺舊蹟

滿願寺

東天王

御所稻荷

新羅社

善正寺

真如堂

明王寺

栗田神明宮

比丘尼坂

在原行平亭

在堂古跡

蓼倉茶師

禊成寺

鳥居大路

おる楓

月輪

迎福寺

芝薬師

神楽園

春日社

吉田泉殿

法性寺

青龍寺

二軀石佛

砂川

龍王宮

千石岩

十禅師社

愛宕墓

中將實方家

極樂寺

智福院

神楽園神

業平朝臣廟

正栄寺

佛々

陽成院陵

頼政山莊

樓門籠

如意跡

中尾山

後愛宕墓

北白川天満宮

東北院

西天王

兼俱祠

一本松一本松

長徳院

地藏堂

小督局家

靈鑑寺

池地藏

大豊社

白石

貞信公亭

照高院

元真如堂

本丸祠

新長谷寺

身隠森

武藏寺

後一條院陵

三本木

如意寺

葵谷

辨慶公鋪

白河院

公任卿山莊

心性寺

丸生山

金福寺

圓光寺

狸谷不動

月滿寺

権中納言敦忠山莊

守禅庵

赤宮

小野毛人墓

觀音石

矢背天満宮

彼那志里社

惟喬親王舊蹟

白川石佛

芭蕉庵

系山觀音

白鳥然

玄母坂

林丘寺

大納言年名御回蹟

寶幢寺

所産山

神子淵

紀貫之家

大原上野

小野神社

頑仙祠

隆松

一系寺天満宮

花之谷

不動堂

道入寺

山端

蓮華寺

甲淵

住吉石

所産社

十禅寺

敏行朝臣家

舞樂寺大主

比良本社

曼珠院

鷲森

叡山若羽谷

禅養庵

理希院

高野社

千束碓

矢瀬川

炭竈里

攝取院

勝子社

西方院  
 資積橋  
 羅漢橋  
 鉄盤石  
 静原峠

真光寺  
 來迎橋  
 法然上人腰掛石  
 寂光院 補遺

寶山院墓  
 後名所院陵  
 姫祠  
 火壺雨壺風壺

小野氷室  
 獅子石  
 良運法師の荘  
 龍峯苑

山科  
 毘沙門堂御門前

毘沙門堂の傳教  
 大所の開基の之  
 初平安成今出川  
 の水あり今橋  
 の壺といふも  
 前縁ふりくさり





毘沙門堂





山科  
明王寺



山科  
明王寺  
鏡山

陵



山科  
安祥寺





日山神明宮 粟田口あり鎮坐の義経歴々遠く津守り其後社認小日

帝行幸ありて日山乃號成賜宮殿造營あり又武帝信原

社司官軍小名擔し野野新田義貞と北國武乃營所の

影向石鳥井の石神木命ありて壻と賜人宇治橋當社入口あり坂

明智光秀塚 日所墨谷道の東三町計小あり慈光頭心所小敷し所

小鍛治宗近水 日所佛光寺墓所門前の西石坂の下小あり

花頂山 粟田山の西青蓮院の傍あり奉願寺一奉あり佛龕とあり具

比丘尼坂 粟田口神明山小至る西一河大落の小坂と古は比丘尼僧して

將軍塚 粟田城久延あり土少くハ尺の人形と能く鐵の鎧甲とあり

青蓮院 粟田町の天谷宗平して始祖の傳教大師中興の大僧正行玄

和尚形 保延四年十月廿九日座主小任と治山十七年之身二覺法親王

耕雲草菴 花頂山の奥又田趾あり耕雲の權入納言右大將補藤原長親卿

は十とせあまり白川の東花頂山乃奥小紅質とわく一藤原

友友むとび泉石ころ飯を食てありく次 應永十五年

在原行平卿亭 鴨川のかわりの一二代實録小入と

堤河 鴨川成つ又近川とも近き河系

六帖 月とのあせ乃を絶せのへはく小を絶河系と入 信實

稜殿 鴨川の東北辺姉小流の末とるんり大津會津稜の所と百練抄小入と

又黒谷傳之法然上人の身子心寂寂小流白河稜及止子と入所小慈と

添夫易落常巻云や川よりなれまあはら丸川のりうやうのもの

添夫易落常巻云や川よりなれまあはら丸川のりうやうのもの

添夫易落常巻云や川よりなれまあはら丸川のりうやうのもの



大日山  
神明宮  
東岩倉

蹴上  
安養寺  
神明鳥居前



法勝寺舊蹟

下岡崎あり法勝寺の一負あり  
 常行堂 曼陀堂 不動堂 山王社 八十六間廻廊 南大門 西門 北門 庫裏 角堂  
 行法堂 教坊 中興の祖 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 西教寺 草創とて 西教寺 應仁の亂 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 塔壇 九重の塔 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 方丈 堂の西 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 十間餘の堂 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 俊寛屋敷 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 風雅之 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 家集 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 其外六勝寺の内 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 寺の西 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 村乃西 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 拾遺抄 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人  
 共小 八蔵上人 八蔵上人 八蔵上人

鷓本林  
 下岡崎南の端西一町計 田畑の中あり 一堆の丘ありて 上小畑あり  
 鷓のたより 鷓のたより 鷓のたより 鷓のたより 鷓のたより 鷓のたより 鷓のたより 鷓のたより  
 の術とて 鷓の術とて 鷓の術とて 鷓の術とて 鷓の術とて 鷓の術とて 鷓の術とて 鷓の術とて

くらわらへ  
 宿の家  
 友の花  
 とき飯



初花... 宿... 友... とき...  
 (Vertical text describing the scene and characters)



風羅坊舊蹟

岡崎ありて定ありは所小蝶阿弥芭蕉翁

都徑徊の時志らくさふ侍し没しむて後具門下の有落人惟然あ

小棲て朝夕の勤ふ翁の發句とれ後とて楓の木魚うらありてむと

ふふ心と清し月雪とありたる終ふ宝永八年二月九日とてむあしく

ありて遺詞ふより全銀の舞し翁の肖像六のふれ形見菅簾 笠杖 行硯 空囊 紙繒 袈裟

ハ惟然乃門を播く千ふの附属に今小姫後の小増位ふ風羅坊と

遷し堂と營ふ小安堂側小塚と築ての義の塵と絶て神とされん

築塚ふふ又具側小姫府の城主の發句と石小鑄くさる添へ頂へ明を宗 圖今ふとさる

とさ成業や風り度とそ母名と身世姫府 雅樂候

満願寺

下岡崎東側ふあり岡基八日亭上人岡伽井堂前乃ふふと足法勝寺の 岡伽井

文子天神

當寺乃鎮守之堂前の小ふあり初小并ふは後とさふふと

蓼倉薬師

將死安んじし一ふと今の下岡乃地蓼倉里小あり一年洪水

寺院破壊して地雲寺と引れ故小蓼倉山は雲寺と引れ

親鸞屋敷

岡崎之應寺前町の北竹林の地とさるは所

堀出観音

堀下乃別荘乃回地あり田の字と月輪とさるは所

東天王社

旧所東の端ふあり祭神中頭天王華表の額正一位東天王と

願成寺

東天王の南ふあり大念佛ありて法堂藏經あり

秋葉社

岡崎南側ふあり近秋葉社権現三ノ坊大勧齋して大

御所稻荷社

岡崎南側ふあり初小一條殿館内ふあり一坂とさるは所

鳥居大路

平記曰建武二年正月奥列の國司顯家卿二万餘騎之栗田口より

押寄

其苗裔ハ今青蓮院中門跡の家とさるは所

姫

中岡崎黒谷門ありのふあり

秋葉社

岡崎南側ふあり近秋葉社権現三ノ坊大勧齋して大

御所稻荷社

岡崎南側ふあり初小一條殿館内ふあり一坂とさるは所

鳥居大路

平記曰建武二年正月奥列の國司顯家卿二万餘騎之栗田口より

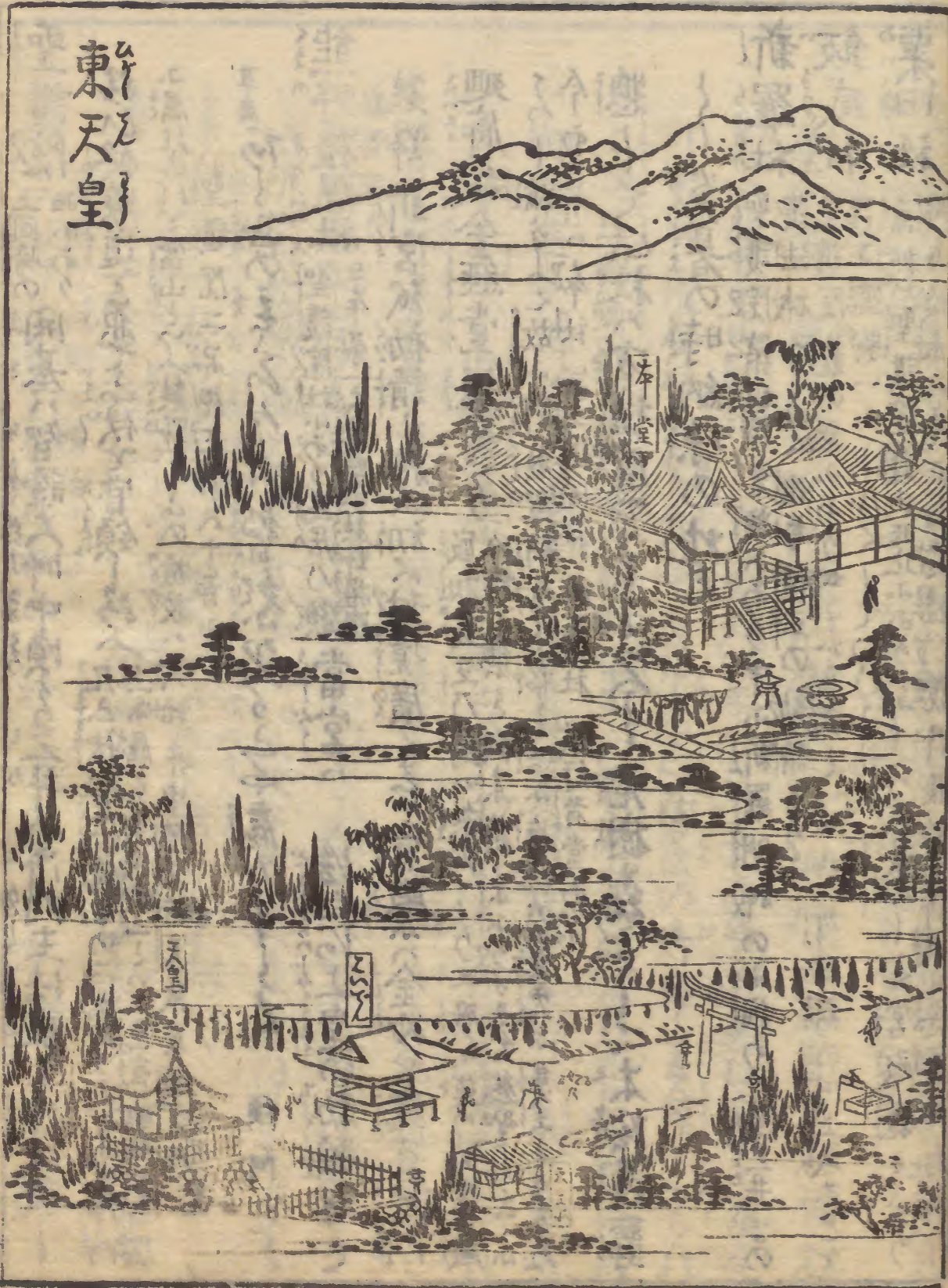
押寄

其苗裔ハ今青蓮院中門跡の家とさるは所

丁園崎  
満願寺



新天皇



願成寺



下

聖護院 上岡崎の 岡基の智證大師中壇より三井の清門主法親王住職

終ひ修驗道と兼ふ伏と官領し終ふ 凡ふ伏小天台真言の二流ありて八合へ當りて

小属はまはる當山といふ終野云々の檢校は天治年中僧正行基が具初と云

草庵 何と云のまゝのくれ終日終るるるる處なりと云 頓阿

能野権現社 聖護院社あり鳥居乃額 當宮へ 後白河上皇の勅願にて

終野新宮が勸請し終ふ初に封境廣くをて宮殿ふに金砂と鏤る樓門

廻廊後舎經堂巍々たり 寂初建之乃時終野より土砂と運りてて宮殿

今より所ハ本社富士淺間社指荷社役行者堂あり

惣として社ハ方境廣くをてとて老樹森々として本陰芝羽鬱

炎暑の時納涼の地と

新羅社 聖護院築垣乃棟類小あり中 新羅明神の小祠あり是二井との

飯成社 聖護院森の巽小あり世小は鹿 祈禱の川上氏と云

栗田社 舊地ハ聖護院森の西北小あり 聖護院の神體小惡靈と云

諸神記云 續院の神靈が神子明王乃續ふ終て顯し崇徳天皇の追號と授るを  
今日地乃字版ヒトク井といふ人崇徳院が謬と唱ふと云

栗田宮へ 崇徳院 宇治悪左府頼長 六條判官為義が元暦え

年四月十五日勸請し終ふ建久四年八月十五日己酉系と始自今己後今

月中酒と用るなりと室有と下されぬ内法寮の清幣を命と云られ

上卿民部卿経房卿使内藏助惟宗久義應永七年九月九日當社の神供

御精進也 大中臣日記云 建武元年七月音栗田社燒拂の所小畠中重連

身命と并く神體墨所宮取出奉り文和二年二月朔日再建同六月

廿日卜部兼敦承て遷宮と神主隆昌重連兩人更く五年宛られ取捕と

盛衰記云 元暦え 年四月十八日子時崇徳院の遷宮あり春日 の末の河系江東あり

は所ハ大炊殿の跡先年の我場也 中界 又故宇治左大臣の廟曰と東方より

玉葉 向とる 一板の焚うたふまこととのうさほく船人 後鳥羽院

十訓抄 宗徳院は樂百首あふ子日 衣袖ふ帯はうらうらふと

東集 子の日せしまるとまきぬ ねと乃神や昔ふさるるちくち

崇徳院は樂百首あふ子日 但馬守 家長

崇徳院は樂百首あふ子日 崇徳院 家長



松塚 聖護院 森乃西南二町計あり是則宇治惣府樹長の社也

善正寺 聖護院の東小二町あり法華宗にして本園寺に属す

釋迦堂 上壇乃地本堂乃西小あり初め玉名郡中村の民人

右大臣吉備公像 黒谷觀音堂乃内不安堂乃冠黒袍著して坐像

明星水 氏者出西學於中國作爲和訓以教國人

稻荷社 大明神と書け寺説曰ひり當之の住職之の筆指前大明神

迎稱寺 眞如堂の靴あり時宗初ら糸極一條小あり故小一條道場と

芝薬師 迎稱寺乃西小隣る靈芝山大興寺と号にえ大宮又此小あり

本尊薬師佛 運慶の坐像二尺五寸十二神將行化之像三尺計

本尊不空罽索觀音 惠心の上人の像あり

迎稱寺 眞如堂の靴あり時宗初ら糸極一條小あり故小一條道場と

芝薬師 迎稱寺乃西小隣る靈芝山大興寺と号にえ大宮又此小あり

本尊薬師佛 運慶の坐像二尺五寸十二神將行化之像三尺計

本尊不空罽索觀音 惠心の上人の像あり

迎稱寺 眞如堂の靴あり時宗初ら糸極一條小あり故小一條道場と

芝薬師 迎稱寺乃西小隣る靈芝山大興寺と号にえ大宮又此小あり

本尊薬師佛 運慶の坐像二尺五寸十二神將行化之像三尺計

本尊不空罽索觀音 惠心の上人の像あり

迎稱寺 眞如堂の靴あり時宗初ら糸極一條小あり故小一條道場と

芝薬師 迎稱寺乃西小隣る靈芝山大興寺と号にえ大宮又此小あり

本尊薬師佛 運慶の坐像二尺五寸十二神將行化之像三尺計

本尊不空罽索觀音 惠心の上人の像あり

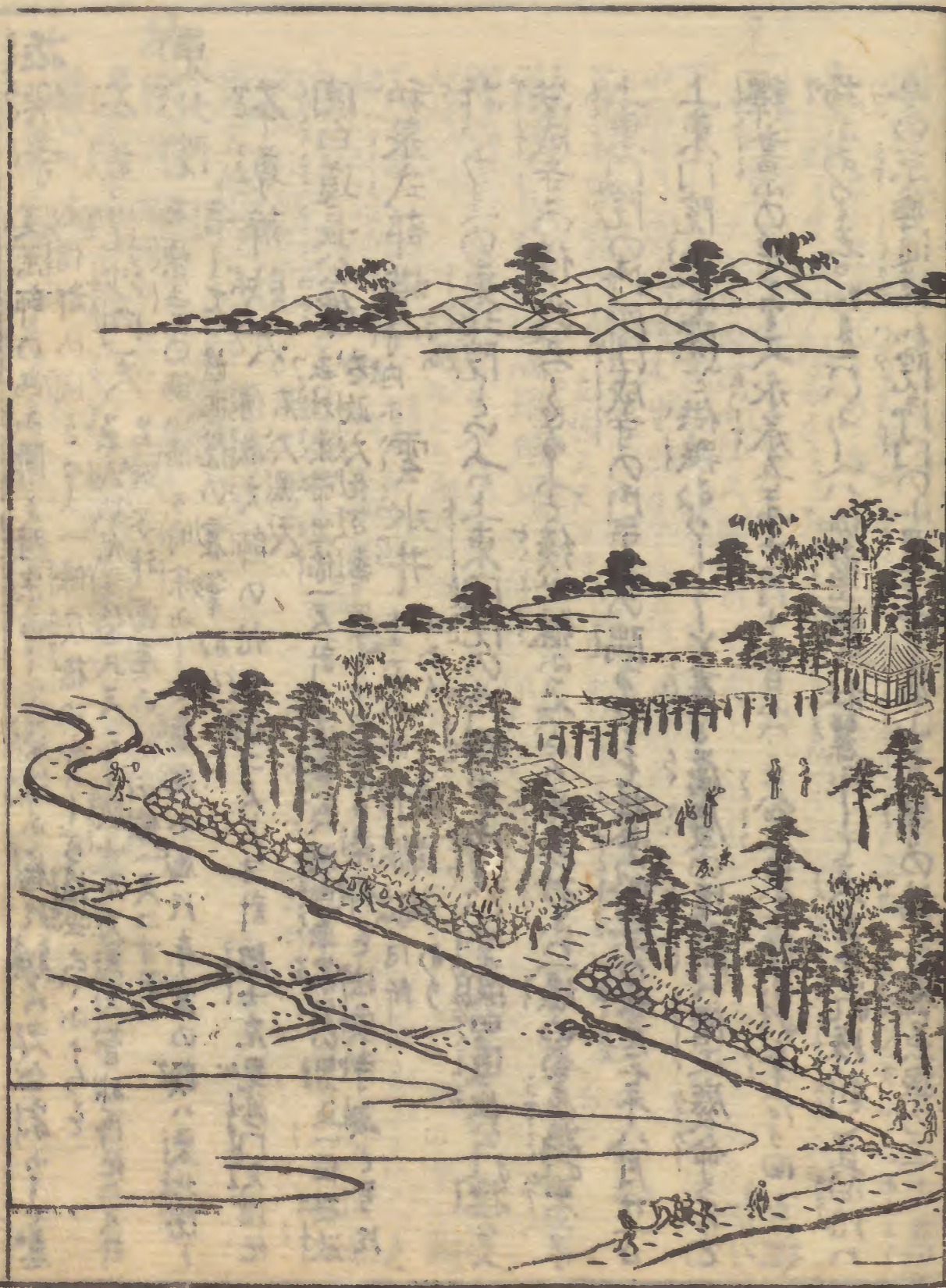
迎稱寺 眞如堂の靴あり時宗初ら糸極一條小あり故小一條道場と

芝薬師 迎稱寺乃西小隣る靈芝山大興寺と号にえ大宮又此小あり

本尊薬師佛 運慶の坐像二尺五寸十二神將行化之像三尺計

本尊不空罽索觀音 惠心の上人の像あり

聖護院森  
熊野権現社



極樂寺

芝菜師の西小隣り時宗少して藤澤小属に初に及合刻りて意

左尊

心僧都の同... 一條虎橋の云く... 藤澤小属に本堂の額ハ東北院と

東北院

極樂寺の西小隣り時宗少して藤澤小属に本堂の額ハ東北院と

本尊

辨財天... 傳教大師の化之像二尺二寸計... 關白兼家公の男正一位藤政

圓白道長公像

冠東帶坐像一尺計。道長公ハ關白兼家公の男正一位藤政

和泉式部塔

寺内小... 雲水井... 軒端梅... 日所小

拆

上東門院の所法成寺の内東山の隅よりと扶桑略記ハ長元三年八月廿一日

法成寺

の像... 續世継... 拾芥抄ハ一條の菊系撰東より

上東門院

の所法成寺の内東山の隅よりと扶桑略記ハ長元三年八月廿一日

上東門院

東山院と供養ありと書ク... 藤慶の導師ハ僧正慶命よりと

釋書

のせり又永承五年十月十二日ハ天台宗東山院ハ幸乃由百餘

抄

のりまゝのまゝいへハ伽藍魏々壯麗にして天台宗北條刺之具由地ハ

今

の京極通は本院清門の小遣送院廬山寺等の地と委實撰の平安舊

圖考

小載... 本名式部塔を水軒端梅ハ今所々小あり皆東北といハ謀曲小

え真如堂

真如堂の山下壇乃地之真如堂の本堂初ハ廬山常行堂ハ在り時一條院

本尊

阿彌陀佛... 白河院宸影同女院御影... 共ハ画誌

蓮華童子

附屬瑠璃壇... 直如堂草創の時童子を人蓮華繪の錦の裏ハ土

佛

無量壽經... 夫人往生... 阿闍世王ハ善道小歸入リ具説法の座下の土ハ早七書ハ

東三條院

日所... 五福石塔... 醍醐水... 堂の山下壇の

神樂岡

吉田... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

新

六... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

後撰

吟... 代と祈るいのりの神樂をねもふまねるもつらん

垣根の茶  
りえあるは  
ふくやうな  
くろくち  
あきふの  
いこの  
あきふの  
いこの  
あきふの  
いこの  
あきふの  
いこの





真如堂門前  
 稻荷社  
 迎稱寺  
 芝茶師  
 極樂寺  
 東北院

智福院 神樂岡の南ありて外は注連と張る  
 西天王社 新本社の下墜ありて祭神牛頭天王岡崎天王と一雙の社  
 本瓜社 西天王の東ありて創祭八月廿四日

春日社 名所の中壇ありて鎮座へ清和帝貞観年中神傳を大  
 平安朝に勸請し行儀遠くはるかに皇妃の社とてや  
 若宮 祭神を宮に勅使塔の勅使着坐の拜所とてや  
 神樂岡神 祭神山城國神樂岡坐とて

ト部兼俱靈社 神龍大明神とて  
 新長谷寺 春日社の下壇の地ありて本尊千手觀音  
 應ありて長谷寺とて千手の像を造らんとす  
 唐土より長谷寺とて千手の像を造らんとす

吉田泉殿 吉田の西北に泉殿ありて一字の田地あり水石の跡今も残る  
 形記曰白河行隆舟の宅ありとて

本真如堂 涼しき  
 野山  
 念佛の  
 去来



吉田春日社  
新長谷寺



木末  
新長谷寺

森れ花乃花

乃々々々

中の

玉くりとと

ま

も宮元大

玉兼

とんらた

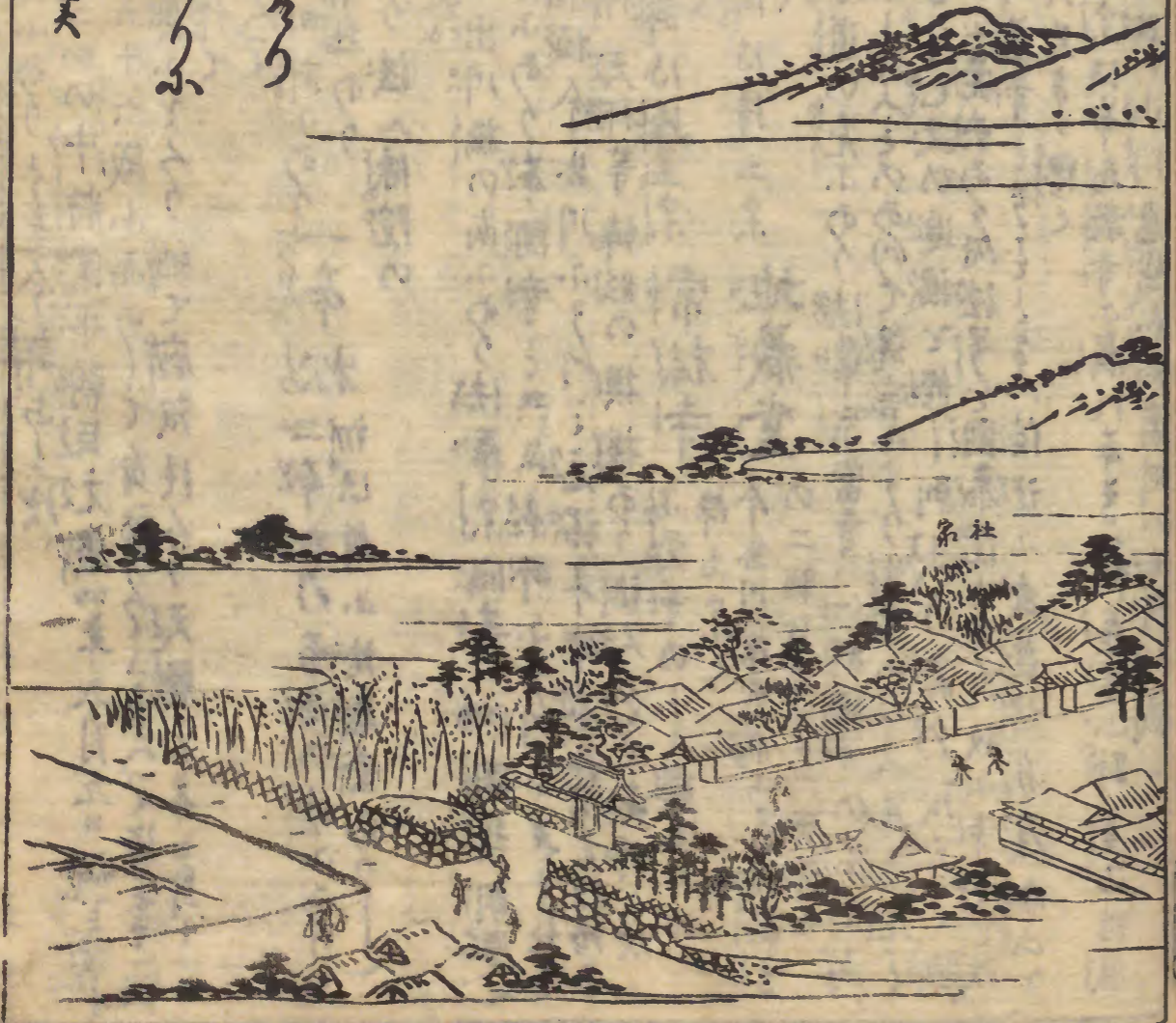
おし文居と

成りたり

山麓の名跡と

従三位

為美



業平朝臣廟

吉田の真小ありて今詳あり  
日廿八日子の辨生初五十六歳小面  
中將の靈と神と崇めりて

二本松

吉田村の外西小一町計小あり  
一本松二本松乃有治の傍小あり

法性寺

鴨川の東岸今出川橋の南小あり  
初相川鎌倉小あり本因寺と共

正栄寺

法性寺の隣小盤秤天秤等鑄形  
常林寺の隣小盤秤天秤等鑄形

長徳院

常林寺の隣小隣は洋土宗  
地藏堂今出川橋東小あり

武藏寺

武藏の東一帯寺道の左小あり  
常林寺の隣小隣は洋土宗

青龍寺

田中村小あり天治宗本教寺  
地藏堂今出川橋東小あり

佛々

小佛々といひ故土人字と  
地藏堂今出川橋東小あり

地藏堂

所西門の外南向小あり本寺  
地藏堂今出川橋東小あり

後二條院

山城國愛宕郡小白川村  
後二條院今出川橋東小あり

二軀石佛

陵の東白河道の左傍小あり  
二軀石佛今出川橋東小あり

陽成院

東の地略紀云天曆二年十月  
陽成院今出川橋東小あり

小督局家

白川の流末小あり  
小督局家今出川橋東小あり

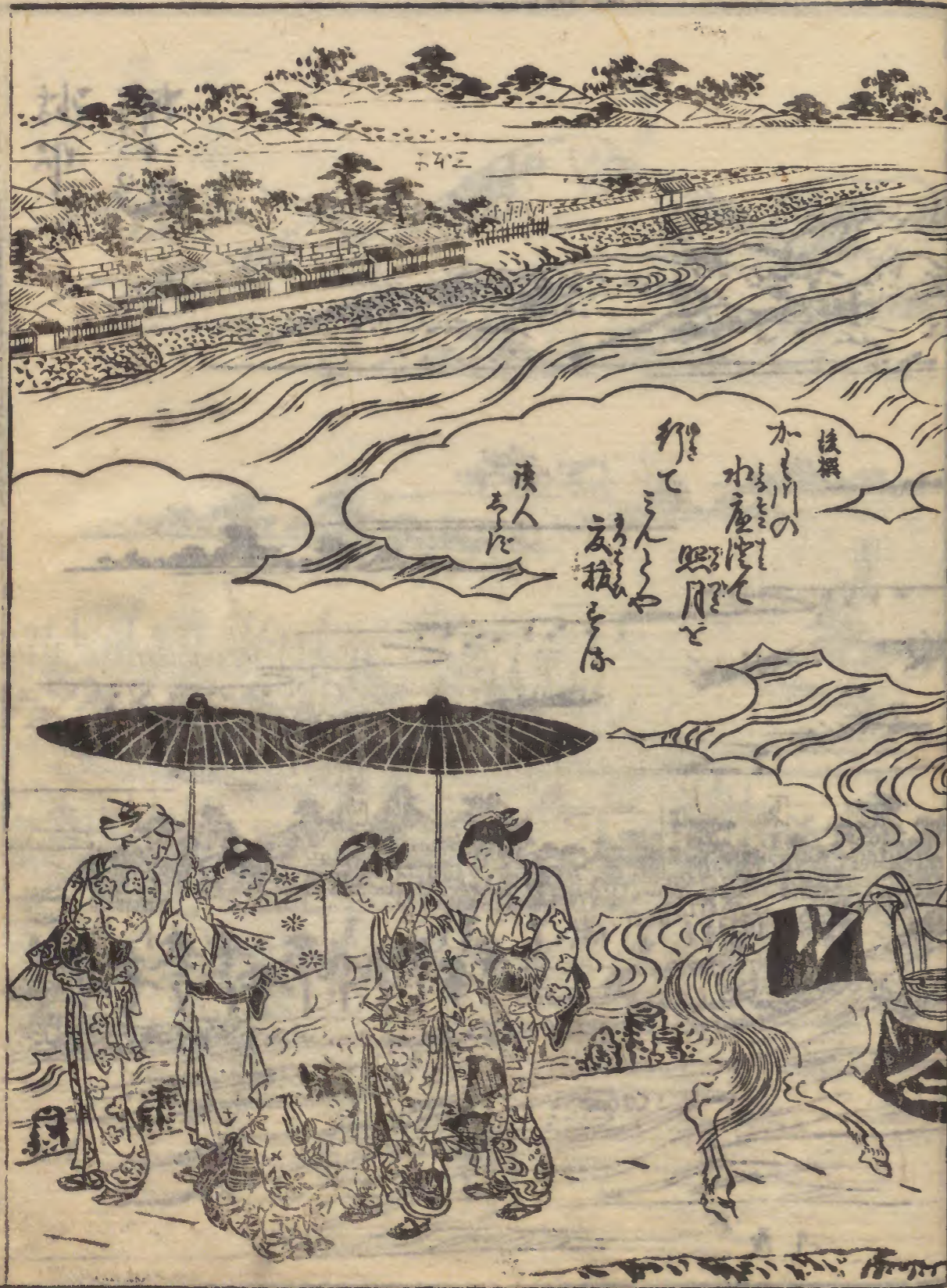
陽成院

東の地略紀云天曆二年十月  
陽成院今出川橋東小あり

小督局家

白川の流末小あり  
小督局家今出川橋東小あり





後編  
 加も川の  
 水屋にて  
 行て  
 三々々  
 友枝と云  
 漢人  
 云々



町内の西を至れば  
 橋の中程迄の橋や  
 てをいふと入りの  
 山を越す所は  
 あらふ針葉樹のみ  
 やしろの観音堂の  
 寺院も木の間に  
 ふあつた道に東の  
 堤原ゆきとて  
 人々もいふは  
 水亭と興隆の  
 あり



千葉寺  
青龍寺  
武藏寺



菴  
冬の日  
千葉寺



源三位頼政山莊 黒谷の東中山小田あり 靈鑑之治 承和四年五月廿四日

小田 諸部 後水尾院 皇女妙法 院 竟然法親王 母公之を 承和代々 比牟尾 所清 住職 史

靈鑑寺 鹿谷のあり 奉尊不動明王 智達大師の他 因基ハ靈鑑院尼公より

如意寺 靈鑑寺の南より 谷 隔て 隣は 如意 巖 樓門 龍の傍に

靈木 本堂の後より 希代 鹿宮 あり 因伽井 日所より 靈泉より

龍王宮 如意寺旧地の東より 如意寺の伽藍の跡ハ 社の裏二町より あり

樓門 龍 澁谷の上より 如意寺の樓門

池地蔵 日所の裏より 山 峰 あり 石 像 あり 地 蔵 あり 初ハ 如意寺より

葵谷 龍王宮の城 近江の 塚 あり

千石岩 葵谷の左三町計より あり 岩の形 高くして 傍に 千石と 横より

如意城 日所 櫻 の上 五町計より あり 足利 義 晴 公の 遺 跡 あり 城の 後 天 文 十九 年

大豊明神社 鹿谷 村 裏の 方より あり 祭 神 牛 頭 天 王 土 人 生 土 神 土 人

辨慶屋敷 日所の 裏 あり 無 寺の 小 四 町 計 あり

十禪師社 鹿谷の 小 銀 閣 寺の 門 前 あり 祭 神 山 王 十 禪 師 又 日 所 あり

中尾山 銀閣寺 外 裏の 間 五 町 計 あり 祭 神 義 政 公 地 小 居 あり 日 所 あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

白河 水 源 山 中 村 あり あり

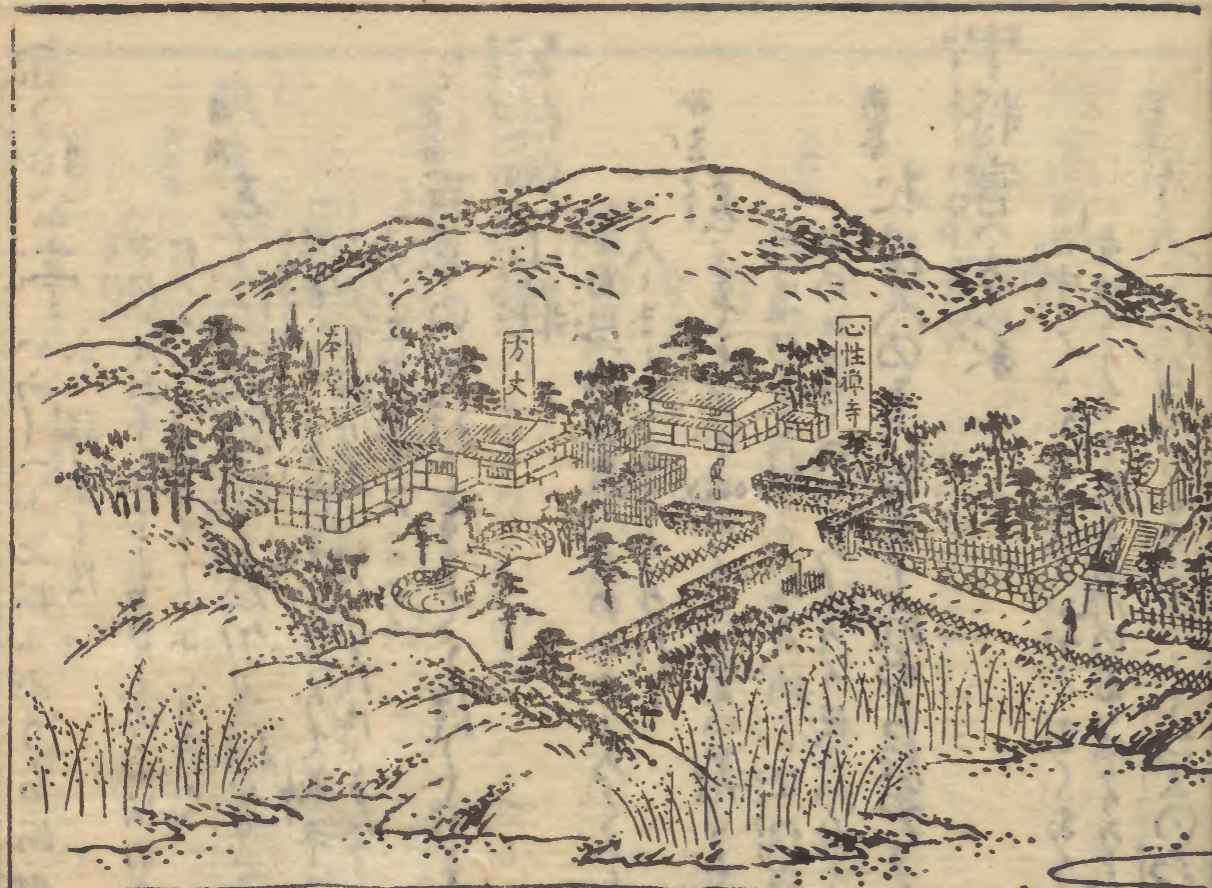
白河 水 源 山 中 村 あり あり



鹿ヶ谷  
 靈鑑寺  
 如意寺

白川村天満宮





白川  
 心性禪寺  
 衆願寺  
 釋迦堂



山中



貞信公亭

いづれ山白河あり白河殿とて  
今詳あり後

貞信公の御代に  
白河の御殿ありて  
仁科公人の御代に  
白河の御殿ありて

推撰

白河の御殿ありて  
仁科公人の御代に  
白河の御殿ありて

中書

家系

百草の花れをまて  
はしつて  
あさつらぬ白川の水

貞之

公任卿山莊

山白河れらるる花の  
おりのろくされて  
ゆるる花は  
人こまきとて  
さうりなれ

拾遺

善とて人こまき  
さうりなれ  
敦道のこれこれ  
大納言公任の家  
ふはりて  
又の日はこのつら  
つらなる御つ  
つてやゆる

公任

新考

お宿の花は  
とて  
お宿の花は  
とて

公任

中將實方家

中將實方の家  
は  
中將實方の家  
は  
中將實方の家  
は

前大納言  
公任

北白川天満宮

白河村南の方あり  
土人生玉神  
は  
九月十二日  
神樂一基を  
居

照高院

旧所あり  
聖護院退院  
所之  
阿彌佛の坐像  
二天  
始開基

新考

あさつらぬ  
白川の水  
は  
あさつらぬ  
白川の水  
は

聖長四年九月八日  
二井寺講堂  
再興して  
おさ

公任

新考

たふさる  
二井の流  
とて  
あて  
あふ  
は  
は

公任

聖長元年正月廿五日  
行幸白河  
照高院ありて

公任

雪のまをり  
とて  
照高院  
道晃

公任

心性禪寺は  
所小の方あり  
禪宗本  
阿彌佛の坐像  
二天始開基

三例龍和尚  
は  
所長  
あて  
あふ  
は  
は

瓜生山

心性寺の良  
あり  
將軍地蔵の地  
則古城の形存  
とて  
あふ  
は  
は

新考

瓜生山  
心性寺の良  
あり  
將軍地蔵の地  
則古城の形存  
とて  
あふ  
は  
は

公任

新考

瓜生山  
心性寺の良  
あり  
將軍地蔵の地  
則古城の形存  
とて  
あふ  
は  
は

公任

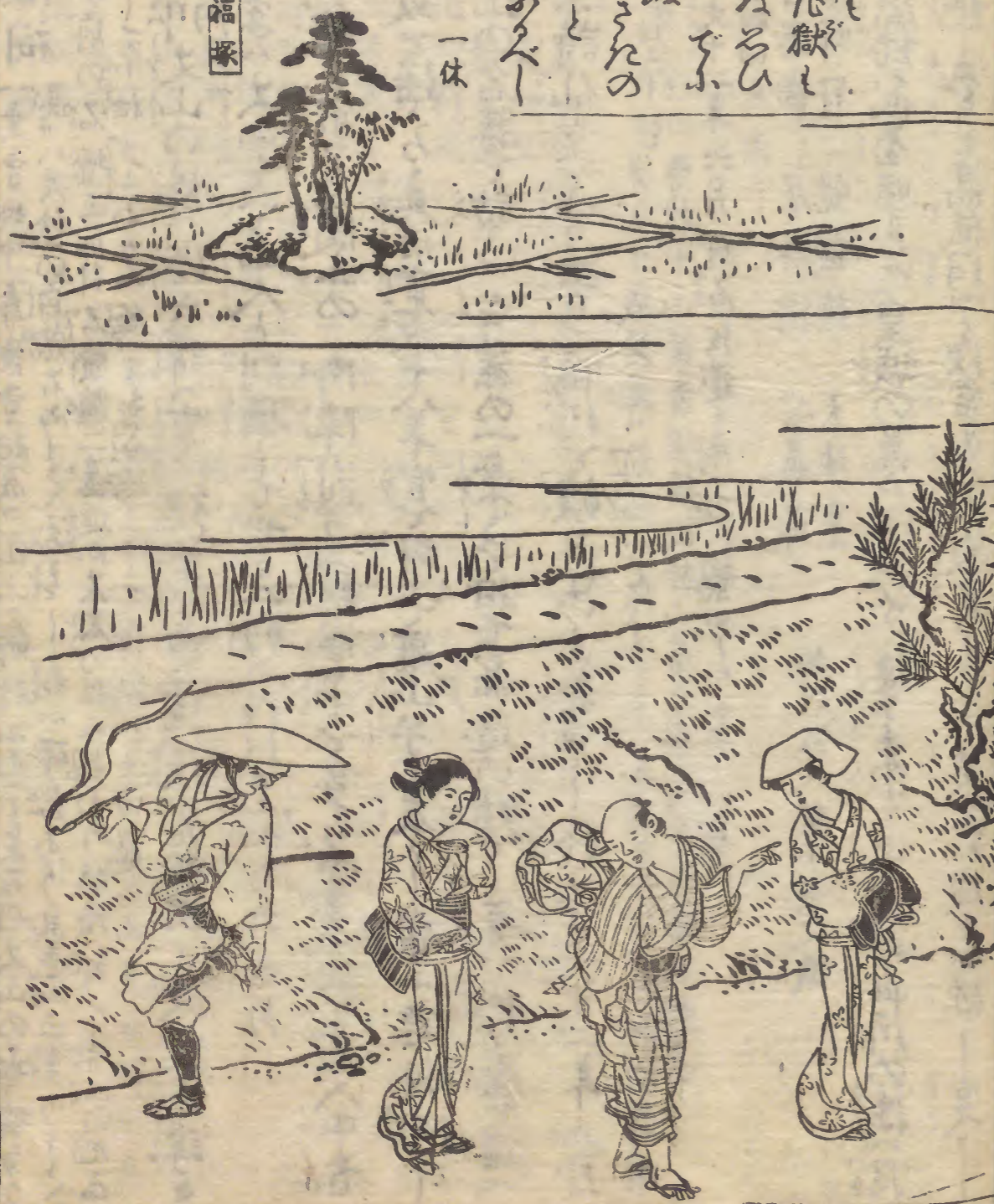


小白河の石佛ハ希代の  
 大徳ありていつこの代乃  
 彼とつふ事とあるは別  
 子小孔子のふはり西  
 方小聖人あり乱に  
 言とていふまね  
 さわつたるま



撥樂 地獄も  
 まるぬさひ  
 せれぬ ぶ  
 このと  
 あふ  
 一休

福家



碩仙祠

一乘寺郷中舞樂寺村殿己山上之町計ふある是石川丈山の壽塲あり  
墓前の石壇二回計石燈燼二基巡ふ丈山の松之樹あり地都赤土の元  
石川丈山の姓源氏諱重之初の名嘉右衛門後を親衛と改む一の諱を  
四字ハ丈山之山人と別稱して世に別小僧にえお乙卯五月

台命と崇つて園山の所陣小刻つて竊小宮中とせ石意小故軍小入甲首

二級と侍たり其居寛永十八年官と辞して羅山子と友々常小詩依咏

諸山の名勝と訪ひ台藤の一乘と相と嘉道の地々芽と把て屋と構へ

新小詩仙堂と宮誓て鴨川と渡らば小塾居一終小寛文十二年五月

廿二日卒と寺村中山築壽塲構祠於山房之異隅自号碩仙祠云

寛文十二年六月碑石に建る序文へ綴る序文へ綴る序文へ綴る

右器識 居林巒 安義節 柳谷散人整子芭父識

泥蟬冠 懿哉德 天地寛 柳谷散人整子芭父識

拵は地西有晴と皇城の萬戸雲の連々東山と巡る高野鴨川の流は月

と揺るをを高低日外常小の寂寞として英名の威々小源一室

舞樂寺天王社

舞樂寺村山腰あり一乘寺天王社同社玉人生土神は諸社根元記  
舞樂寺天王社八天王西方未社諏訪八幡は祈ふ山の社記あり

金福寺

舞樂寺天王の下あり禪宗南禪寺小属に中興ハ鉄舟お尚なり

芭蕉庵

号に年久矣類廢やと近年再興の事ハ謝蕪村が撰寫経社集乃

序小見へくり又庵の北芭蕉翁の碑石あり清田文與とれ撰撰は其文曰

芭蕉翁以諧歌聞於海内諧歌即世所謂俳諧者 翁之履歴人往往

詳之盖伊賀人罷仕隠於 江戸又住江之大津遷於攝而終 翁没

七十餘年高士韻人與夫諧歌者流思慕稱讚不已 翁冢所在有之

姪道卿新建於東山詩仙堂南金福寺中請予銘焉予義祖伊藤坦菴

先生亦與 翁交坦菴集中有謝 翁邀飲詩余可以想 翁爲人矣

今之諧歌要有二端牛鬼蛇神眩耀萬目打油釘鉸 脂韋莠口野服葛

中風標如仙而明人所謂那白雲常飛卓程屋上 翁作諧歌清新不

俗澹有骨力庶幾詩家陶韋抑又上援杜陵下伴香 山亦或可擬世傳

名敬義子仲氏第子出嗣樋口氏爲吾藩同宗川越 侯源公知京邸

事慧而不奇介而能圓多諸技藝其於諸歌蓋亦有師 受淵源云道卿

與者翁生不並世出處異轍而心醉不已至有斯舉 蓋有臭味相契於

才腴貌癯 錦心綉腸 行雲流水 勒珉此處 建冢多方

舞樂寺村  
 金福寺  
 芭蕉庵  
 丈山墳

天王社  
 芭蕉庵  
 金福寺  
 丈山墳



清原  
 旧庵

丈山



白川乃





一  
衆  
寺  
村  
圓  
光  
寺

瑞巖山圓光寺

一刹寺村天王の東二町計あり禪宗禪寺小殿に千載

東照宮

當寺東の山上小汗鐵坐し於人中興之要和尚津勸請し奉所之

折當寺の野別足利乃學校と慶長三年 台命と崇り伏見の坊月小極し

其後相國寺の肉ふり又寛文年中は地お移を中興の祖の三要和尚之法嗣友

耳峰社禪師小受足利學校乃第九世之入印板植字十萬字朝鮮の書籍

二百部 台命ふりて所寄附あり又之要和尚 命し移て都鄙乃國字

板掌し故小洛陽の學校と稱に當寺の所建之ハ 所代の寂初とて

いし佛人 今の世小力者大物と牽動と多次小之要々々といハ本寺寺より起と

慶長乱後記林道春云

足利學校ハ參議篁の建之我國庠序して書生受業乃旧館形り社

領二百五十石あり近代九本老人次小銀講誦に大図の時儒法漸く

廢して相國寺の圓光寺信長老と云此社と持り云

坐禪石 其儀ふり由縁



葉山觀音



乃 院 寺 也

曼珠院  
天満宮



狸谷石不動

一刹村上天守り長十町餘あり行路峻嶮之高廿二丈餘廿二丈計の石窟あり中石像の不動尊安坐する長八尺計本食上人正禪の

白鳥越

同所東小あり上古の性遠道ゆして是より

花之谷

同所の小ありは所小橋多し故小名とん殿心の衆徒一夏中勤

曼珠院

同所東小あり浄宗吉浄宗派慈覚大師より相承して天慶

年中小ふ於て園と移し浄門跡は足兼法親王と初は中古より

禁裏乃側小遷

明暦二年良尚親王今の地小移し移し竹内浄門後と

天満宮

當院後山小あり象神菅公後陽乃菅文長は浄門生兼帶所と

むうけ所小月林寺といふ殿心二千坊の一寺あり日本紀略云康保四年二月廿八日大實頼公月林寺ゆくを遷し移し拾遺抄云古今の他者幽仙律師延暦寺別當不補と拜堂の處小登之乃日坂奉月林寺ふ於て頓減と

清眞公月林寺ふまくりりふとくれてすそと

拾遺抄云古今の他者幽仙律師延暦寺別當不補と拜堂の處小登之乃

文章 三 文原俊生

鷺木林

鬚屋天皇

拾王

ひえのふ

冬いと

さひい

雪の色

なれ

杜より

巻法







雲母坂  
雲母寺  
林丘寺



石



ひまわり



此の山は...  
僧侶...  
行...  
書...  
...

道入寺

修家寺村乃あり其あり

禪華庵

修陽妙覺寺小庵に

守禪庵

赤山社二町計小の

大納言年名郷

大納言年名郷

山端

修家寺村の西あり

理即院

修家寺村の北高野川

赤宮

修家寺村の北高野川

寶幢寺

高野村小あり

本尊阿弥陀佛

寶幢寺の北あり

歸命山蓮華寺

寶幢寺の北あり

奉尊釋迦佛

寶幢寺の北あり

今枝宗二居士石碑

寶幢寺の北あり

漱玉

寶幢寺の北あり

高野社

高野村東の

系神早良親王

高野村東の

出雲高野神社

高野村東の

山城國高野

高野村東の

神祇拾遺

高野村東の

八所

高野村東の

津靈乃

高野村東の

乃

高野村東の

乃

高野村東の

乃

高野村東の

乃

高野村東の

乃

高野村東の

乃

高野村東の

乃

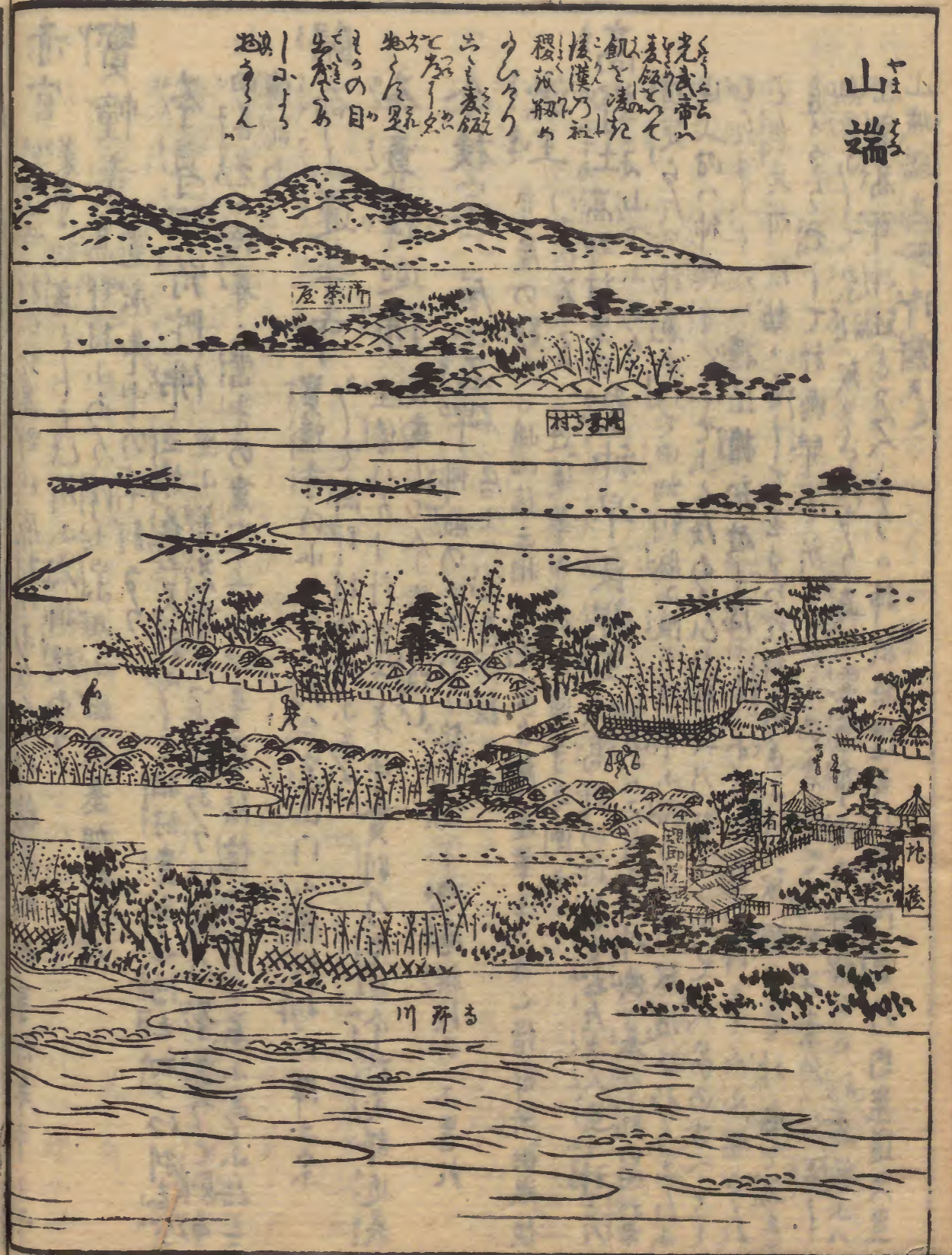
高野村東の

乃

高野村東の

乃

高野村東の



光武皇帝  
 表叙之  
 叙と清た  
 漢乃社  
 櫻花  
 少  
 出  
 物  
 此の  
 出  
 出  
 出



高野  
蓮華寺  
高野社



八  
ノ

甲淵

高野より八瀬小至は

千束碓

甲淵の北半町より小あり右の

山にて道幅八尺計乃極路

平治物語之比羅山ハ信賴義朝討つ

義朝討つに及び都をこころと

山徒乃をふりういふく死と

の美盛と飯一まいとせんを

つりて道つとていひつら

羅ふて討死しつとぬそ

平國小落くつりつと討つ

さつハ物の具とたまつ

たり業武者ハつて何せん

と実盛とつとを製徒ハ大

くく一投ハ小志とつて

そくべつとあひあつ

後陣乃老僧も我か

そハ所小志とつと

後乃つとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

つとつとつとつと

矢背川

矢背の由緒

源ハ大原の山二里計

溪より流るる下鴨河

そりよぶる下鴨河

して繚纏の紐子

茅之博と布て坐し

ありたつとも多

もは川の名寿

矢背天神宮

一基ハ王寺の神

室ハ文書取つて

紀貫之家

古今

杖の心

貫之

貫之

貫之





御蔭社御奈

茶屋

契つてまき

くわぬ神の

まうけん

むくのね

い

のり

茶屋





天瀬天満宮



炭竈里

大原郷ありしり神とや  
炭とやれしり名とや

炭竈乃煙の里乃名ふとてよそふも考れとのりト  
二所ハ炭  
若子伊定

波那志里社

大原乃里南の郷  
路傍の右小あり  
源太夫社  
北小江文の二部居あり

上野

大原郷の即ア村あり  
上野村あり

万代とのつうささる大系乃人野の森とては  
仲実

十禅寺

戸寺村のひり二面計山脈あり  
本尊阿弥陀佛  
坐像二尺二寸

龍女山攝取院

大長原村あり一名  
本尊阿弥陀佛  
坐像二尺二寸

開基澤住法師

法師俗人なり  
妻とて孫とて  
無住ありて村中よりこれ張護は

住持素懐成遊ふる己上縁起の大意  
其地古た石塔あり土人云  
惟喬親王乃作墓ありと云傳人  
これらのこと乃りてふくうりては  
そのとてし所ふゆりてふくうりては  
くふふとてのふくうりては  
てのふくふまうりては

惟喬親王舊跡

上野村南の方田の家小所あり  
居乃所ありとて又曰所ありとの際  
一軒換とてし所あり

古今  
忘まていふるをそと母いふる雪や  
雪乃りる日小野ふまうりてゆり  
惟喬乃作子の  
作乃いつくふくうりては

は里いつくく竹乃雪や  
小野神社二座愛宕郡  
敏行朝臣家  
亭子院敏行朝臣のの家小梅の花  
乃りては

小野神社  
神名帳曰小野神社二座愛宕郡  
今詳なり

敏行朝臣家

亭子院敏行朝臣のの家小梅の花  
乃りては

そいしてふくうりては  
伊勢

勝手社

大系乃連奉院西の郷あり  
古野金峯山小詣し勝手社小法施し  
乃りては

乃りては  
乃りては

西方院 上野村の中あり 毘沙門天の塔寺内ありは尼ハ

真光寺 大長瀬村の小あり 奉獻釋迦佛行基の祀坐像不入計

賣炭公祠墓 勝林院村松葉院の後あり 此の地小野の寺にして寺の

翁ありは所し其首長

拾玉 小野の 大系とて炭の煙のあかりをたれあり人 長鎮

住吉 百首 炭ははし氷室とて小野の火と水とを隔るなり 後成

炭焼 やねは乃 清水を足は 具角

小野氷室 延喜式曰山城國愛宕郡

この氷室のくう小野の老翁のくう日傍柳樹

千載 下るる小野の山に 進橋を人たつる雪とてをり人 源仲正

拾玉 とてこそ 小野の山に氷室とて清さへなるありぬ 慈鎮

堂徳橋 大系橋井所の小あり は松尾高野乃 中廟橋 奥野松乃

形り土人曰毎寒一二二人あり

来迎橋 堂徳橋乃 截石の橋にして千銅の擬寶珠あり御中の華送

後鳥羽院陵 帝陵記曰北大原勝林院塔頭實光院あり 大新所ハ陸奥

獅子石 融通寺堂の右あり 良忍上人ありとて建は 松樹張修せらる

羅漢橋 融通寺堂の右あり 良忍上人ありとて建は 松樹張修せらる

法然上人腰掛石 日所の西あり 傳云上人勝林院本尊小系指り

姫祠 勝林院村往還の西あり 大津杜 草生村北二町とりの

良暹山莊 大系小あり 袋州子ふる人

清輔 代衣 子日人々大系小遊行をのく騎馬一々ふ後頼朝臣

感歎 良暹の 奮勇あり人々驚ておれ故阿しむる一とて曰

障子 小書 人哥いよと消とて

良暹 二里の甲 暹のあつるを初考さうはは 良暹

は亦 後拾遺 小有つて定頼卿のね亦ふ未同トとをり

真守鉄盤石 居宅あり 大原真守とて名銀治さん

大原郷口

後拾遺  
ありはめ七楼の

とてやくき

うら

大原ぶ乃

雪の

柳

七条武部



唯喬塔

今文





